1．生活環境チーム中間報告書

５年後　生ごみの排出量 10%削減

No.1 克　雪

現況と主な課題	目指すべき方向	具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・集落内道路で除雪機械が入れない所がある	1・除雪困難地域を解消する	1・必要な除雪路線の道路改良を促進する	対象集落	津南町
2・冬期間の水路・消雪パイプの水量が不十分である	2・新たな水源を確保する	2・下水道処理水等の消雪パイプ利用の研究を進める	対象集落	津南町
3・高齢者のみ集落で冬期の雪害対策・集落内道路を集落で維持することが困難となってきた所がある	3・高齢者のみ集落の雪害・生活道路確保のため、近隣集落の要員・業者等で保安する	3・高齢化集落等集落事情に応じた防雪・生活路線確保要員制度を確立する	対象集落	津南町
4・側溝集中雪投下により下流地域が水つきとなる	4・側溝からの浸水被害防止を図る	4・側溝雪投入の地区ごと時間制を導入する	対象集落	対象集落
5・ひとり暮らし高齢者等が冬の生活に不安を抱いている	5・冬期間限定の住居の確保を図る	5・冬期生活住宅を確保して活用を図る	対象世帯	津南町
6・生活路線以外の除雪がある	6・生活道路以外は受益者負担を求める	6・生活道路以外の除雪は受益者負担を検討する	対象世帯	津南町

No.2 交通網・交通安全

現況と主な課題	目指すべき方向	具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・路線バスの運行補助金、スクールバスの委託等生活交通に係る経費が1億円弱となっている	1・経費の削減と生活路線確保・充実を両立させる	1・町営バスの運行を含め、あらゆる組合せを検討しバス路線の拡充と経費削減を図る	町民	津南町
2・昼間の路線バスの乗車密度が低い	2・利用状況にあった車両の利用と運行ダイヤの設定により経費を削減する	2・タクシー委託、スクールバス・ひまわり号の弾力的な運行による利便性の向上と経費削減を図る	町民	津南町
3・子ども・高齢者の交通事故が増加している	3・交通事故を根絶させる	3・子ども・高齢者の交通安全教室の充実を図る	町民	町・警察等
4・事故多発の箇所がある	4・交通安全施設の整備を促進させる	4・必要箇所のカーブミラー等の更新・設置（地域で管理）	対象地域	対象地域

No.3 ごみ処理・環境保全

現況と主な課題	目指すべき方向	具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・人口減少に反し、野焼きの禁止・事業系生ごみの増加により、ごみの量や処理経費も増加している	1・ごみ排出量を減少させ、処理経費の削減を図る	1・家庭ごみ処理の有料化を図る	町民	衛生組合
	・リサイクル分別を徹底するとともに、ごみ許可業者・公衆衛生推進協議会との連携を図る	・コンポスト・電動生ごみ処理機等の普及を図る	町民	津南町
		・生ごみの堆肥化に向けた取り組みを強化する	町民	農協
	・自然環境の保全、環境公害の防止に取り組む	・リサイクル分別を地域ぐるみで徹底する	町民	集落
	・資源循環型社会を構築する	・マイバック等の買い物で過剰包装・ごみの減量化を図る	町民	町民
		・リサイクル製品の使用普及を図る	町民	町民
2・不法投棄がある	2・不法投棄犯罪を防止する	2・ポイ捨て防止に関する条例の見直し、強化を図る	町民	津南町

No.4 防　災

現況と主な課題	目指すべき方向	具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・勤務等で消防団員が日中地域内に居ない	1・地域コミュニティ活動の中核となる消防団を組織する	1・消防団の再編（班の統合等）、消防団員がいない集落は地域防災組織を構築する	町民	津南町
		・役場職員による消防防災隊を組織する	町民	津南町
2・地域の防災訓練が不十分である	2・緊急時・災害時に迅速な対応ができる体制を整備する	2・行政・地域の連携訓練を充実させる	町民	津南町
3・災害時の防災機材の保管が1箇所である	3・大規模災害を想定し、防災機材を分散保管する	3・防災倉庫を確保する	町民	津南町
4・情報伝達が広報無線主体である	4・多様な情報伝達システムを確立する	4・最新情報機器を利用した伝達のシステムを構築する	町民	津南町

2. 定住基盤チーム中間報告書

10年後 下水道水洗化率100% 1・2級町道改良率80%

No.1 道路整備

現況と主な課題	目指すべき方向	具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・道路改良の地域要望が多い	1・生活幹線道路の改良整備を進める	1・緊急性・公共性を重視した計画的な道路網の整備を図る	町民	津南町
・地形・用地の確保等から路線バス・ひまわりバス・スクールバス運行に支障となる道路がある		・国県道の整備要望、農林道との連携を図り重点整備を推進する	町民	津南町
2・国道117号の町中心部において通年渋滞が起きる	2・交差点の改良整備を進め、渋滞を解消する	2・交差点改良を要望する	町民	国

No.2 上下水道

現況と主な課題	目指すべき方向	具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・集落単位の水道施設（配水池・水源取水構造物）が多く老朽化している	1・集落単位から地域単位の施設整備を図り、安全で安定した水を供給する	1・遠方監視設備等施設の近代化により緊急時対策を図る	町民	津南町
		水利権等集落間連携・調整を行い水源確保を図る	町民	津南町
2・公共下水道・農業集落排水・浄化槽等地域形態にあった事業を展開しているが各戸の接続工事が遅れている	2・全町水洗化を早期に完了する	2・国県補助金の確保と事業の着実な実施を図る	町民	津南町
	・河川の水質改善等環境浄化を図る	・事業完了地域の下水道接続の指導を強化する	町民	津南町
	・接続工事を進め施設の効率的な運用を図る			

No.3 水資源

現況と主な課題	目指すべき方向	具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・町中心部の生活用水が不足している	1・2 限られた水源を効率的に活用できる水路網の整備により、消雪用水・農業用水・生活用水の確保を図る	1・2 発電用・生活用・農業用の各水利権の合理的活用と新たな水源の調査及び確保を図る	町民	関係機関
2・自家用深井戸の急速な普及により、道路等公共施設の消雪用水量が不足している				

No.4 地域情報化

現況と主な課題	目指すべき方向	具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・広報無線が老朽化し、故障が増加しているが現在の方式の受信機が製造されていない	1・必要な行政情報が必要な時に得られるシステムの構築と行政・町民のネットワーク化を図る	1・2 高速通信網を整備し、ケーブルテレビ等による新しい方式の情報の提供とテレビ受信・パソコン通信体制を整備する	町民	津南町
2・平成23年にテレビ放送がアナログからデジタルに完全に切り替わり、中継局・アンテナの切り替えが必要となる	2・難視聴を解消し、どこの地域でもデジタル放送が受信できる施設・設備を整える			

No.5 住宅

現況と主な課題	目指すべき方向	具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・町営住宅が老朽化している	1・町営住宅の計画的更新による住宅の安定供給を図る	1・美雪町住宅、大船団地を更新する。（建設方法はPFI方式（民間資金活用）も検討する。）	町民	町・民間業者

3. 農林水産チーム中間報告書

5年後「米生産量10%アップ」「雪味人参作付面積3倍20ha」「アスパラガス作付面積＋30haの100ha」「農林産物販売額10%拡大」

No.1 稲作振興

現況と主な課題

1・平成20年から生産者主体の生産調整に移行する
・新たな米政策への移行により、産地間競争が始まり安全で特徴ある米が求められている
2・多様な流通体制の整備が求められている
3・個人経営体が多く、生産コスト削減に限界がある
4・山間地の担い手が不足し、耕作放棄地が増加している

目指すべき方向

1・適地・適品種、減農薬・減化学肥料への移行を図る
・超高品質米の生産による差別化を推進する
・堆肥投入・栽培指針の徹底により食味向上を図る
2・消費者ニーズを的確に捉え多様な流通を開拓する
3・生産組織を育成し生産コストを削減、所得増を図る
・認定農業者等への農地集積、大規模農家育成を図る
4・土地基盤整備を進め、耕作放棄地を削減する

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・コシヒカリ単一栽培からもち米・酒米等の作付を増やす	生産者	生産者
・堆肥の計画的投入を推進する	生産者	生産者
・色彩選別による被害米と青米の除去で整粒歩合95%以上	生産者	生産者
の超高品質米を生産し、ブランド化を図る	生産者	生産者
2・全農・全集連販売を基本とし外食産業を含め直販を進める	生産者	農協・業者
3・初期投資の助成、全作業の共同化を進める	生産者	生産者
・農地流動化センター（仮称）を設置する	生産者	関係機関
4・集落外から担い手支援を受け集落内で共同経営を進める	生産者	生産者

No.2 畑作振興

現況と主な課題

1・農業労働力の高齢化等により基幹野菜の生産拡大が困難となっているが市場評価は高い
2・基幹野菜の秋人参の作付が減少している
3・契約作物の契約価格が引下げ傾向にある
4・大手量販店は地域特産の特徴ある売り場作りを進めている
5・酒・漬物・豆腐等特産品の販売が振るわない
6・消費者の食の安全・安心志向が高まっている
7・野菜価格安定基金が特定作物に偏っている

目指すべき方向

1・特に市場評価の高いアスパラガスの作付を拡大する
・雪味人参の作付を拡大する
2・土地利用型の基幹野菜を新規に導入する
3・機械化を進め、コスト低減を図る
4・高齢者等が取り組める小物野菜を中心に作付拡大を図る
5・販売強化により販路拡大を図る
6・堆肥投入による土壌改良、適正な農薬基準の厳守と減農薬・減化学肥料栽培を進める
7・内容を見直し、制度を再構築する

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・共同選別・選果体制を整え、出荷の労力軽減を図る	生産者	生産者
・低コストで効率的な除雪体制を確立する	生産者	生産者
2・高冷地センター等関係機関の協力を得て、土壌・気象条件	生産者	農協・町
の中で特徴を出せる野菜を重点開発する		
3・低コスト大規模栽培を進める	生産者	生産者
4・自家用野菜の出荷で地域内消費（野菜市）を図るとともに県	生産者	農協・業者
内量販店を中心に販路を拡大する		
5・津南こだわり農産㈱（仮称）を設立する	生産者	関係機関
6・堆肥センターの堆肥供給価格の低減を図る	生産者	農協
・適正な農薬使用について生産者への周知を徹底する	生産者	農協・業者
7・仕組みを含めて改革する	生産者	財団法人

No.3 畜産振興

現況と主な課題

1・農家数は減少しているが経営は大規模化している
2・大規模化に伴う尿処理・臭気対策が課題となっている
3・町営牧場が草地更新時期にきている

目指すべき方向

1・他産地と差別化した肉・牛乳の生産と販売を確立する
2・臭気の軽減を図る
3・妙法牧場への委託を含め、収支改善を図る

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・高品質の肉・牛乳のPRにより販路拡大を図る	生産者	関係機関
2・浄化槽設備の設置、畜舎内洗浄の徹底を進める	生産者	生産者
3・放牧料の見直し、妙法牧場への委託を検討する	生産者	津南町

No.4 林業・林産物

現況と主な課題

1・木材価格の低迷、林業従事者の減少により森林整備が進まず、荒廃地が増加している
2・健康志向の高まりからきのこ等特用林産物の需要が高まっている

目指すべき方向

1・造林・保育・木材の搬出コストの低減が図られるよう林道作業路の開設を促進する
2・販路の拡大による安定経営を図る

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・間伐を進め材の性質を高めるとともに小径木加工・オガ粉	生産者	森林組合
を原料として間伐材の製品化を進める		
2・農林産物販売の法人の活用による販路拡大と規模拡大に	生産者	森林組合
による生産コストの低減を進める		

No.5 生産基盤整備と農業経営

現況と主な課題

1・国営地区以外の水田では300haの未整備地域がある

2・米は系統販売が多く、野菜は市場出荷が主体となっている

3・野菜は大半がダンボール出荷である

4・観光産業とタイアップした体験農園が無い

5・津南の食文化が失われつつある

6・土地改良事業が概ね終了している中で経常賦課金が上昇している

目指すべき方向

1・県営事業を中心に基盤整備を進める

2・小売店への直販など多様な販路を確立し、有利販売を進める

・農協と森林組合の流通・販売・原料供給の連携を図る

3・地元でパッケージを行い多様な販売体制を確立する

4・都市と農村交流を進め、産地のPRと消費者との交流を図る

5・女性・高齢者の技術・特技を活かし、食文化の継承と経済効果を図る

6・人件費を抑制し、経常賦課金の農家負担を軽減する

具体的な取り組み

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・平成18年度からの県営中山間地域総合整備事業で区画整理を進める	生産者	生産者
・国県対象外地域・山間地も町単独事業で直営施工など多様な手法で基盤整備を進める	生産者	生産者
2・津南こだわり農産㈱（仮称）で直接販売・ネット販売の比率を高める	生産者	関係機関
・販売会社で米・野菜の他、餅・酒・豆腐・味噌・山菜加工品・きのこ等あらゆる地場産品を販売する	生産者	関係機関
3・パッケージセンターを設置し、小袋での直販を進める	生産者	関係機関
4・宿泊施設との連携の中で体験農園を設置し観光誘客数の増加を図る	生産者	関係機関
5・女性グループが主体となり郷土料理集を出版、販売する	町民	女性グループ
・個人の加工場を設置し、家庭の味を販売する	町民	生産者
6・土地改良区の広域合併の推進・業務量に応じた職員配置等土地改良区のあり方について検討する	生産者	土地改良区

4．商工雇用チーム中間報告書

特産品開発により、５年後20～30人の雇用増

No.1 商工業の活性化

現況と主な課題

1・近隣市町村の大型店舗への消費者の流出、景気低迷による購買力の低下が見られる

・消費行動のレジャー化が見られる

2・商店街組織の活動が低迷している

3・景気低迷及び海外進出等による誘致企業の撤退・縮小化が見られる

目指すべき方向

1・地元で買い物することにメリットがあるような企画・戦略を構築する

2・組織の活性化を図り、共同で戦略の調査・研究を行う

・広告宣伝活動の強化を図る

3・地元資本での新規創業・起業家の育成を支援する

・人材育成を図る

具体的な取り組み

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・アフターサービスのPR、日常的なイベントの開催、共同での宅配などによる販売方法等に取り組む	町民	民間業者
・クアハウス津南等公共施設利用による共同販売を検討する	町民	民間業者
2・共同で消費者ニーズの把握、朝市等の企画を実践する	町民	民間業者
・魚沼こしひかり提供等地元食材・商品の利用とPRによる来町者への宣伝と統一イメージの構築、差別化を推進する	町民	民間業者
3・地区集落1品産業を推進し、意欲ある起業家への融資等支援体制を整備する	町民	町民

No.2 雇用対策

現況と主な課題

1・求人はあっても地元企業への就労希望者が少なく、近隣市町村からの採用が増加している

2・臨時雇用・パートタイム勤務者の雇用が安定していない

3・企業誘致が望めない状況となっている

目指すべき方向

1・地元新規学卒者が地元企業に魅力を感じ地元に就職できる環境を整備する

2・臨時雇用・パートタイマー等の雇用の確保と安定を図る

3・地元での起業支援体制を整備する

具体的な取り組み

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・教育機関と事業所、新規学卒者との懇談会を開催する	新規学卒者	関係機関
・職場体験の機会を設ける	新規学卒者	関係機関
2・人材派遣会社を設立し、雇用の安定化を図る	町民	民間業者
3・特産品開発・地元農林産物の加工製造・販売の新規事業所の発足を支援する	町民	津南町

No.3 特産品開発

現況と主な課題

1・ 津南の特産品？・・・統一イメージが無い
2・ 特産品が開発されても小規模事業で発展・産業化されていない
3・ 津南の伝統的食べ物・お年寄りの伝統技術等が活用・商品化されておらず、また、販売する場もない
4・ 自然・農林産物等特産品に活用できる素材に恵まれている

目指すべき方向

1・ 統一イメージを確立し「津南」のブランド化を図る
2・ 特産品による来客の増加と産業化による雇用の確保を図る
3・ 個人製造の特産品を活用し販売できるシステムを構築する
4・ 新規特産品の開発のための人材育成と組織化を図る

具体的な取り組み

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・ 業界を挙げたイメージ作りの取り組み・宣伝活動を推進する	町民	民間業者
2・ 特産品の宣伝・販売戦略を各業界の連携の中で確立する	町民	民間業者
3・ 個人の生産許可申請等の指導と津南観光物産館等での販売場所の提供を行う	町民	民間業者
4・ 業界・研究機関との連携と調査・研究を進める	町民	民間業者
・ 中心となる人材の育成、確保を図り新規起業への支援を行う	町民	民間業者
・ 他都市・他都市企業との産業交流、技術協定を図る	民間企業	民間業者

No.4 新エネルギー

現況と主な課題

1・ 地球温暖化防止・温室効果ガス削減が求められている

目指すべき方向

1・ 未利用の非化石エネルギー導入を推進する

具体的な取り組み

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・ ハイブリッドカーの導入促進を図る	町民	町民・津南町
・ 太陽光エネルギー利用・導入を図る	町民	町民・津南町
・ 小水力発電施設を設置する	町民	津南町

5．観光リゾートチーム中間報告書

3年後 観光協会の完全自立、5年後 観光入込客数80万人

No.1 観光関連組織

現況と主な課題

1・ 津南町の観光構想が不明確でありかつ統一性がない
・ 観光協会の位置づけが曖昧でり、活動も停滞している
・ 各観光施設・組織・団体・行政等の連携が薄い
・ 町全体が観光に対する意識が薄い
2・ 観光関連組織の連携が弱体化しており、企画力・営業力・宣伝力の向上が望まれている

目指すべき方向

1・ 観光協会が真に民営組織として自立できるよう組織の再編成を行い、新しい観光事業の実施と観光情報発信基地としての体制を構築する
2・ 観光組織・観光施設・旅館等民間業者・観光業者・行政等の連携を再構築する

具体的な取り組み

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・ 観光協会事務局を設置場所を含め役場から完全独立する	観光協会	観光協会
・ 観光協会会員制度を見直し、会員に利点がある制度を構築し、加入促進を図る	町民	観光協会
・ 観光会社（エージェント）の活用、町民からのアイデア募集、町外者の意識調査などにより観光基本戦略を策定する	町民	観光協会
・ 観光協会ホームページの充実により最新情報を発信する	顧客	観光協会
・ 私設ホームページとの相互リンクを図る	顧客	町内外者
2・ 事業計画の共同作成・事業及び営業活動の共同実施、PR戦略の統一化等を進める	町民	関係組織

No.2 観 光 資 源

現況と主な課題

1・ 観光客のニーズが見学型観光から体験型観光に移行している
2・ 各文化・分野で活躍している人材の活用が十分でない
3・ 観光資源の活用・宣伝が不十分である

目指すべき方向

1・ 食・農・雪を活用した津南らしいオールシーズン観光を展開する
2・ 人材の発掘・育成・受け入れの体制を整備する
3・ 資源の保護を考慮しつつ、資源の掘り起こしと活用により多彩なメニューを提供する

具体的な取り組み

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・ 津南らしい体験型観光の受け皿を発掘する	町民	関係組織
2・ 窓口を設置し人材の発掘と中心となる人材の連携を図る	町民	観光協会
3・ 観光協会を軸とし、観光会社（エージェント）との連携・宣伝活動を実施する	顧客	関係機関

No.3 観光施設

現況と主な課題
1・観光資源が点在しており、それぞれのつながりが無い
・観光ルートが確立されていない
2・スキー人口減少によりスキー客が減少している
・点在する各観光施設単独の魅力が低下している

目指すべき方向
1・観光客の求める目的別の観光ルート・メニューの構築により誘客増と相乗効果を生む
2・各施設の連携の中で多様化した顧客ニーズに対応した新たな観光事業を展開する
・公共施設の位置づけを明確にし、施設の民営化を含め経営の安定化を図る

具体的な取り組み

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・自然資源の掘り起こしと、目的別観光プログラムを策定する	町民	関係組織
・農と縄文の体験実習館（なじょもん）を観光活用する	顧客	津南町
2・各施設の売り込み戦略の作成と観光ルートの整備を図る	顧客	観光協会
・設備の充実・既存施設の活用による各種スポーツ合宿等の誘致	顧客	関係機関

6. 保育教育チーム中間報告書

統合で中学校１校、中高一貫で一貫校１校

No.1 学校・保育所

現況と主な課題
1・少子化が急速に進んでおり、数名規模の保育所がある
・学校においては現在3校が複式学級であるが今後も複式学級が増加する見込みである
2・複式により積上げ学習ができない教科がある
3・中高一貫教育が制度化され、継続性ある教育指導・個性・才能・豊かな人間性の育成を目指している

目指すべき方向
1・保育所の小規模学級、小学校の複式学級を解消する
・一定規模学級の確保により園児・児童・生徒の競争力・自主性・協調性を高める
2・複式学級の弊害を解消し、基礎学力の向上を図る
3・中高一貫校等の誘致により進路の選択肢の多様化及び教育の質の向上を図る

具体的な取り組み

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・複式校の学校統合を進める	児童生徒	津南町
・学校統合に併せ、少人数保育所の統合を進める	園児	津南町
・通園・通学の交通確保と施設跡地の活用検討	該当地域	津南町
2・統合前に複式学級の教科調整を行う	児童生徒	津南町
3・津南町に郡市エリアの中高一貫校の誘致環境を整備し導入の実現を図る	町民	新潟県

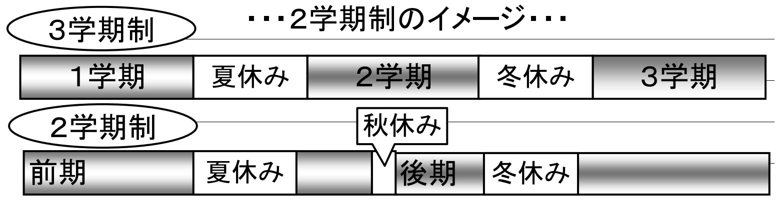
※中高一貫教育・・・中学校と高校の６年間を接続し計画的・継続的な教育指導を展開することにより生徒の個性や創造性・学力の向上を目指す制度です

No.2 学校二学期制

現況と主な課題
1・国の教育政策の変遷
①学力偏重の見直し
②「ゆとり」の教育・・・総合学習、週5日制の導入
③学力低下現象・・・学習指導要領の見直し
理想と現実に隔たりが出ている
2・教職員に「ゆとり」が無くなってきている

目指すべき方向
1・教育政策の目的が達成されるシステムを構築する
2・教職員の「ゆとり」を確保し、生徒指導の充実を図る

・・・2学期制のイメージ・・・



具体的な取り組み

具体的な取り組み	受益者	実施団体
１・2　学校に二学期制を導入する	児童生徒	津南町
（始業式・終業式が減り、授業時間が増加する）	教職員	
・・・学力向上が図られる		
・・・1学期末の教職員の煩雑さが解消され生徒指導が充実		
・・・12月末の教職員の煩雑さが解消され進路指導が充実		

○前期を4月1日から10月第2月曜日（体育の日）まで、後期を10月第2月曜日の翌日から3月31日までとする　○秋休みを10月の第2月曜日の翌日及び翌々日とする（体育の日を含む5連休）　○中学校を試行し、小学校へも導入する

○現在実施されている「学童保育」、後に出てくる健康保健チームの「子育て支援センター」、社会福祉チームの「複合施設」との総合検討・調整を図る

No.3 児童館

現況と主な課題
1・共働き家庭の増加により、延長保育・学童保育の要望が高まっている
2・核家族化により子育ての悩みを持つ親、相談を希望する親が増加している
3・地域において多世代間交流および子どもたちの縦のつながりが減少している

目指すべき方向
1・休日保育を含め、乳児や病後児を保育し、児童の健全育成と保護者の子育て・就労の両立を支援する
2・育児相談、児童及び保護者の「心のケア」が可能な体制づくりを進める
3・児童に世代間の交流の場と健全な遊びを提供して、心身の健康を増進し情操を豊かにする拠点を整備する

具体的な取り組み

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・専任職員を設置し、放課後児童保育・休日保育を実施する	町民	津南町
・看護師・保健師との連携を図り運営する		
2・必要に応じて相談員（カウンセラー）を配置する	町民	津南町
・子育てサークルの育成・支援の環境整備を図る	町民	町民
3・高齢者や高校生などからボランティアを募り、遊びを通した児童の健全育成と多世代間の交流を図る	町民	町民
1～3実現のため児童館設置を検討する		

7. 文化学習チーム中間報告書

1人1学習、1人1スポーツ、1人1ボランティア

No.1 交 流 ・ 文 化

現況と主な課題

1・8月オープンする「農と縄文の体験実習館」の目的・運営方法が町民に周知されていない（愛称：なじょもん）

2・国内外交流について、相互文化を認識しあえる交流が求められている

3・子ども向け郷土資料が不足している

4・歴史的文化財資源は多数あるが散在し、活用計画がない

目指すべき方向

1・目的が周知され「津南文化の発信基地」として多くの町民が事業に参画し郷土の誇りを伝承する

2・津南文化の向上に繋がる交流事業を展開する

・子どもたちの国際理解に繋がる交流事業を展開する

3・総合学習や自由研究に対応できる資料を整備する

4・津南の伝統文化の再確認と他分野との連携により、文化遺産を町民全体で守り、育てていく

・地域財産である文化財を地域で維持保存できる条件を整備する

具体的な取り組み

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・津南町の学童の郷土教育のみならず、都市部等学童の学習の場、教育旅行の場として活用する	町民	津南町
・体験型観光施設として活用し、町内他観光施設への波及効果を構築する	町民	津南町
2・文化団体との交流を深める	町民	津南町
・各課で実施している交流事業についてプロジェクト化を図る		
3・学びやすさを重視した子ども向け郷土資料を作成する	町民	津南町
4・自然と文化遺産を学習テーマに取り入れる	町民	津南町
・観光との連携により津南文化を発信する	町民	津南町
・地域等と協働で文化遺産を維持保存する仕組みを構築する	町民	地域・町

No.2 ス ポ ー ツ

現況と主な課題

1・体育協会を中心とする競技スポーツ、健康づくりを中心とした生涯スポーツなどの目的追求が希薄化している

2・行政主導の大会・イベントが大半となっていて団体自らの運営がされていない

3・少子化・スポーツ離れの中、青少年の健全育成のためジュニアのスポーツ活動の充実が求められている

4・総合センター等施設使用料について、登録団体を減免措置にしている一方、老朽化に伴う維持補修費が増加している

目指すべき方向

1・目的追求のため、事業内容や活動体制を再構築する

2・各団体の自主運営による活動を推進する

3・スポーツ少年団等ジュニアについて小→中→高校の一貫指導体制の構築と指導者の技術向上を図る

4・「使用→消耗→皆で補う」意識を高め、自らの施設として大切に利用する

具体的な取り組み

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・スポーツ団体の組織を再編し、連携の取れる組織体制を構築するとともに各団体の自立を促す	各種団体	体育協会
2・行政が主催すべき大会・行事の絞込みを行う	各種団体	津南町
3・専門知識を持った指導者の登録・活用を制度化する	町民	津南町
・指導者の研修会開催・派遣により技術の向上を図る	町民	津南町
4・公共用利用の基準を明確化し、応益負担を求める	町民	津南町

8. 健康保健チーム中間報告書

5年後 精密検診受診率90%、69歳以下のがん死亡率20%以下

No.1 成人・老人保健

現況と主な課題

1・生活習慣病の要因となる高血圧・肥満が増加し、食事や生活の改善・治療が必要となっている

高齢者においては脳梗塞や転倒骨折、痴呆による寝たきり者が多い

2・健康教育が十分でない事業所もあり、行政との連携が希薄である

3・がん死亡の大半はがん検診未受診者となっている

目指すべき方向

1・生活習慣病を早期発見・早期治療し、医療費・介護保険給付費の上昇を抑制する

2・職場の健康指導の充実と行政との連携を深める

3・がんを早期発見し、がん死亡者を減少させる

具体的な取り組み

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・町民健診の検査項目を増やし、健診内容を充実させる	町民	関係機関
・生活習慣改善にむけた支援プログラムを策定する	町民	関係機関
・医療機関との協議と一貫性のある指導内容の研究	町民	関係機関
2・職場と行政協働での健康啓発・指導機会を設ける	町民	事業所
3・がん検診後の精密検査の受診勧奨を強化する	町民	津南町
・職場健康管理者からの受診指導を強化する	町民	事業所

No.2 母子保健

現況と主な課題

1・親と子どものかかわりの希薄化や子ども同士の遊びの減少により言葉や社会性の習得が遅れている子どもが増加している
2・女性の社会進出や核家族化により、ゆとりをもった子育てができなくなっており、子育てに対する悩みを持つ保護者が増加している

目指すべき方向

1・指導活動・広報活動を通じて情報提供を行い、家族のかかわりを側面から支援する
・子どもを安心して預けられる施設を整備する
2・親子で遊べる、または、他の親子と交流できる施設を整備する
・気軽に相談できる場所や育児協力者を確保する

具体的な取り組み

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・保健師の健診時や家庭訪問等での指導活動を充実させる	町民	津南町
・発達相談や交流の場を提供する		
・行政・保育所・学校とのきめ細やかな連携体制を整備する	町民	関係機関
2・「子育て支援センター」を開設し、親子の集いや自主育児サークルへの支援、子どもの一時預かり等を行うともに、相談員を設置し悩みの解消を図る	町民	津南町

No.3 障害者保健

現況と主な課題

1・障害者への理解が十分とは言えず、今後適切な支援・対応が求められている
2・支えあえる仲間づくりの場が少ない
3・服薬の中断などにより、病状の悪化や再発が起こりやすい

目指すべき方向

1・病気や障害を家族や地域が理解し、地域の中で支えあえる
2・仲間づくりができる場や機会を設ける
3・病気の悪化や再発を予防するために、適切な服薬や受診ができるようになる

具体的な取り組み

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・支援体制図を作成し、相談窓口を周知する	障害者及び家族	障害者の会
2・各種行事等への積極的な参加を促し、ふれあいの場を拡大する		家族会
3・病気や障害に対する指導や講座への参加を呼びかけ、病気の理解を深める	障害者及び家族	津南町

No.4 健康づくり

現況と主な課題

1・幼児期から夜型の生活リズムによる食習慣の乱れ、偏食等が子どもの虫歯・肥満の原因でもあり、成人以降も生活習慣病の大きな要因となっている
2・子どもの外での遊びが減少、大人も運動の必要性を理解しながらも習慣づけることが困難な状況となっている
3・ストレスや家族関係の変化など複雑な要因により、心の病気が増加しているため、心の健康づくりが重要となっている

目指すべき方向

1・乳幼児期から規則的な生活リズムと食習慣が確立されるよう生涯にわたって一貫性のある食事・運動・生活指導体制を整備する
2・地域で気軽に取り組める運動環境の整備を図るとともに水中運動や軽運動などの利用しやすい環境を整える
3・ストレス解消、生きがいづくりのため、趣味・スポーツ活動・ボランティアなど気軽に取り組める場を設ける
相談窓口が分かり、必要な時いつでも利用できる

具体的な取り組み

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・各年代の生活習慣・食生活の把握と目標を設定する	町民	関係機関
行政・保育所・学校の検討会	町民	関係機関
既存公共施設のバリアフリー化を進める	町民	津南町
2・地域の公民館等で実施できる運動プログラムの策定と関係機関との連携により普及活動を進める	町民	関係機関
3・心の健康づくりを支援するための支援体制図を作成し、相談窓口を周知する	町民	関係機関
ストレスをためないような自己管理や病気の予防ができるよう啓発普及する	町民	津南町

9. 地域医療チーム中間報告書

5年後　かかりつけ医として「津南病院」での受診率70%

No.1 津南病院運営

※地域医療チームの検討と並行し、病院職員との検討会で協議中

現況と主な課題

1・医師確保が困難な状況となっている
2・病院建物の維持補修費の増加、医療機器の更新など長期の計画的な医療環境の整備が求められている
3・赤字経営となって経営の厳しさが増している
4・医療情報の提供が求められている
医療不安がある

目指すべき方向

1・継続して安定した医療サービスを提供する
2・施設・医療機器の充実による快適環境を整備する
3・経営体制を強化する
4・医療情報のシステム化・情報提供の充実を図る

具体的な取り組み

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・大学病院、関係機関等への医師招聘のアプローチ	受診者	津南病院
2・施設・医療機器の計画的な更新を図る	受診者	津南病院
3・的確な経営診断ができるシステムを構築する	受診者	津南病院
4・町民への医療情報の提供、行政・福祉・医療機関との情報のネットワーク化を図る	受診者	関係機関

No.2 医療の広域・地域連携

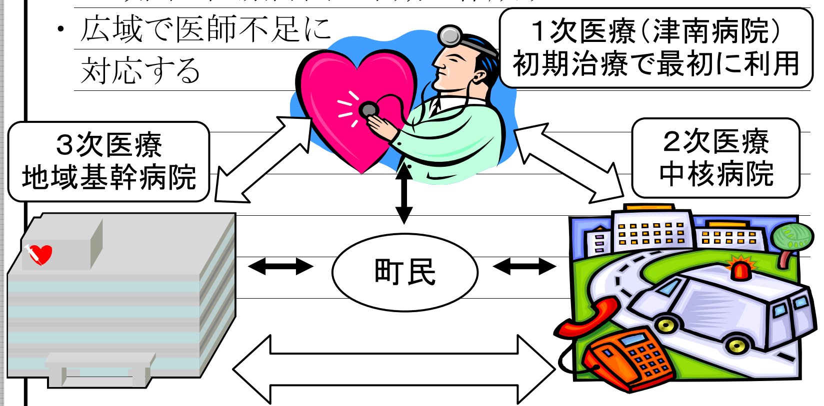
現況と主な課題

1・医療提供が専門化・分極化している
・高度医療への対応が不十分となっている
・休日・夜間・緊急医療への対応が不十分である

3魚沼（南・北・中）基幹病院構想
1次医療・・・かかりつけ医（開業医・津南病院）
2次医療・・・救急救命・高度な医療（県立十日町病院）
3次医療・・・より専門的で高度な医療（地域基幹病院）
（3魚沼地域基幹病院建設構想が検討されている）

目指すべき方向

1・医療機関の機能の体系化（役割り分担）を進める
・広域圏の医療計画を早期に作成する
・広域で医師不足に対応する



具体的な取り組み

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・3魚沼地域医療圏の医療機関広域連携の中で津南病院における医療提供内容の明確化を図る	町民	津南町
・県・3魚沼市町村・医師会との連携強化を図る	町民	広域市町村
・交通体系の整備を図る	町民	広域市町村
・地域医療をサポートする医療ボランティアを活用する	町民	津南病院

No.3 予防医療と初期治療

現況と主な課題

1・高齢化及び生活習慣病への対応が求められている

2・山間地等通院の交通体系が不便である
3・訪問看護・在宅医療・往診への対応が求められている

目指すべき方向

1・検診・疾病予防を強化する

2・交通体系を充実し、利便性の向上を図る
3・在宅患者の日常生活を支援する

具体的な取り組み

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・人間ドック・各種検診の受け入れ体制を充実する	町民	津南病院
・出前健康講座・各種教室の実施により健康意識高揚を図る	町民	津南病院
2・通院しやすい交通体系を確立する	町民	津南町
3・訪問看護・在宅医療・往診等対策を強化する	町民	津南病院

10. 社会福祉チーム中間報告書

10年後 予防対策推進で在宅の寝たきり者を0（ゼロ）に近づける

No.1 地 域 福 祉

現況と主な課題

1・近所づきあいが希薄化している

2・各ボランティアの組織化は進んでいるが、活動の核・拠点がわかりにくい
3・行政主導型の福祉施策が多い

4・各福祉団体の活動が硬直化している

5・現在の社会福祉協議会の施設が2階建てで障害者・高齢者が利用しづらい

目指すべき方向

1・日常の身の回りで発生する諸問題を地域で解決できるようにし、解決困難な事項は行政が対応する
2・ボランティアをやりやすい、また、利用しやすい環境がある
3・町民が参画した福祉のまちづくりを推進する

4・自発的かつ主体的に活動できる体制を整備する

5・総合型福祉拠点施設を整備する

具体的な取り組み

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・地域住民が主体となった「おせっかいサポーター（仮称）」制度の実施	町民	地域
2・ボランティア利用者と提供者を結びつけるシステムを構築する等ボランティアセンターの機能強化を図る	町民	社会福祉協議会
3・町内小学生以上の有志による地域福祉のあり方を考える組織（100人委員会等）を設置し、地域福祉活動計画を策定する等実践活動を進める	町民	関係機関
4・各福祉団体の研修会等に専門家や職員を派遣し、活動を側面から支援しつつ自主運営を促す	町民	関係機関
5・在宅介護支援センター・社会福祉協議会・生活支援ハウス・障害者のサロン・老人憩いの家・子育て支援センター・児童館・ボランティアセンター等の複合施設設置を検討する	町民	関係機関

No.2 高齢者福祉

現況と主な課題

1・一人暮らし・高齢者のみ世帯や共働き世帯の増加により家庭内の介護力が低下している
2・食事等多少の支援があれば福祉施設に入居せずにすむ人が増えている
3・一律的な福祉サービスが提供されている
4・敬老事業がマンネリ化している
・老人クラブの活動が停滞している地域が出てきている

目指すべき方向

1・福祉サービスの拡大・充実をして、できる限り元気で暮らせる地域づくりを行う
2・高齢者が暮らしやすい環境作りを行う
・寝たきり0（ゼロ）に近づける
3・応益負担を原則とするが、低所得者層にも配慮した施策を行いながら、真にサービスが必要な人への重点的な福祉サービスの提供を目指す
4・高齢者が生きがいを持てる地域づくりを行う

具体的な取り組み

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・通所サービス等預かり時間の延長、24時間ヘルパーの実施等在宅サービスの利用時間を延長する	町民	関係機関
2・地域ボランティアの育成をして、要介護者の見守りを行う	町民	社会福祉協議会
・健骨体操・水中運動・筋力トレーニング等の寝たきり予防対策を推進する	町民	津南町
3・在宅サービス利用助成、介護手当等助成事業対象者の基準の見直しを行う		
・配食サービスの基準及び実施方法の見直しを行う	町民	社会福祉協議会
4・敬老事業を一箇所集中型から地域主体の分散型に移行する	町民	町民・町
・高齢者の技術・知識・余剰労働力を生かした活動を行う	町民	社協・町

No.3 障害者福祉

現況と主な課題

1・身体障害者手帳交付者の3/4は高齢者が占めている
・支える家族の高齢化により介護力が低下している
2・障害者の雇用の場が少ない
3・障害者が気軽に集まれる場がない
・障害者の地域社会とのかかわりが少ない

目指すべき方向

1・在宅で快適に生活できるサービスを提供する
2・働く場を確保するとともに、社会参加しやすい体制を確保する
3・サロン的な空間を確保する

具体的な取り組み

具体的な取り組み	受益者	実施団体
1・ボランティアやヘルパーの育成確保により外出時サポートやガイドヘルパーなど新たなサービスを構築する	町民	関係機関
2・高齢者などの支援者を募り、遊休農地を利用した無農薬野菜等の生産・販売を行う	町民	関係機関
3・障害者のサロンを含む複合施設設置を検討する	町民	関係機関
・グループホームの開設を検討する	町民	関係機関

11.新行政システムチーム中間報告書

事務効率と住民サービス

現況と主な課題

日本経済は長引く景気低迷等でかつて経験したことのない局面を迎えており、地方分権・構造改革・市町村合併と社会情勢も急激に変化している

地方自治が新しい時代を迎える中、複雑・高度化する行政運営を着実に行うには、その変化を認識し意識改革をしていかなければならない

目指すべき方向

単に効率性の追求や経費等の削減に止まらず、地方分権下における行政責任・高度情報化への対応、将来を見据えた行財政改革を断行する

既存の制度・仕組みにとらわれることなく時代のニーズに対応できる町民サービスを提供する

具体的な取り組み

具体的な取り組み	受益者	実施団体
・役場内について総合案内のほか、見やすい案内看板を設置する	町民	津南町
・事前の電話予約による各種証明書の時間外発行サービスを充実する	町民	津南町
・公共施設の使用料について維持費・減価償却費等を精査し、見直しする	町民	津南町
・選挙投票所数の削減と投票終了時間の短縮を図り、事務経費を削減する	町民	津南町
・役場の電話交換業務を廃止し、各課への直通電話（ダイヤルイン方式）とし、待ち時間の解消と経費節減を図る	町民	津南町
・行政が直接使用していない町有施設について集落等に譲渡する	町民	津南町
・税金の前納報奨金制度を廃止する	町民	津南町
・公共施設での分煙を徹底する	町民	津南町

※町民生活に直接関わらない事務事業や行政内部の努力で実施する取り組みは除きます

・・・ご意見、ご提言をお寄せください・・・

津南町役場　電話65－3111　ホームページアドレス　http://www.town.tsunan.niigata.jp/
総務課自律推進室　内線　315　　Eメールアドレス　somu@town.tsunan.niigata.jp